

西風新都における超小型モビリティ実証実験 アンケート調査

単 純 集 計 結 果

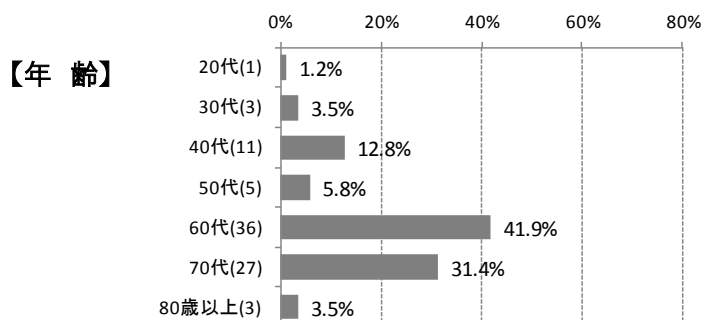
【調査票の種類別に整理】	A : 参加モニター…………… 1	[ページ]
	B : 地域活動団体代表 ……20	

平成 28 年 1 月 27 日

調査A:参加モニターへのアンケート調査

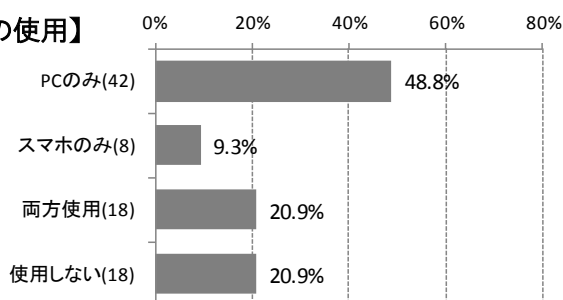
※グラフ中の（ ）内は件数を示す

【モニターの年齢等】



	件数	割合
20代	1	1.2%
30代	3	3.5%
40代	11	12.8%
50代	5	5.8%
60代	36	41.9%
70代	27	31.4%
80歳以上	3	3.5%
合計	86	100.0%

【情報機器の使用】

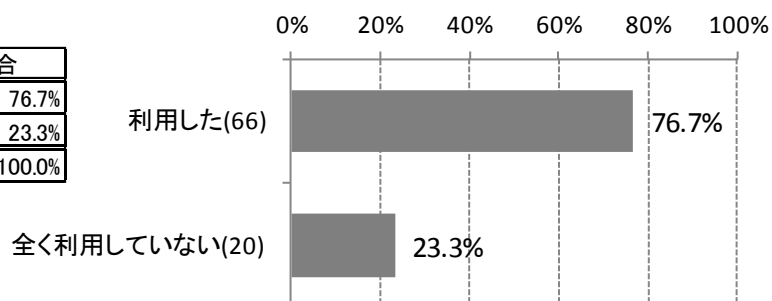


	件数	割合
PCのみ	42	48.8%
スマホのみ	8	9.3%
両方使用	18	20.9%
使用しない	18	20.9%
合計	86	100.0%

【質問1】超小型モビリティの評価について

(1)利用の有無

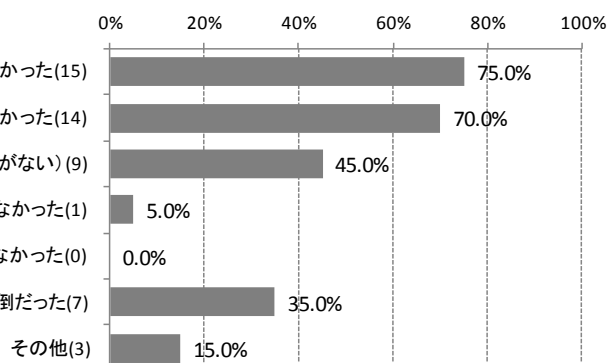
	件数	割合
利用した	66	76.7%
全く利用していない	20	23.3%
合計	86	100.0%



※「全く利用していない」を選択された方のみ

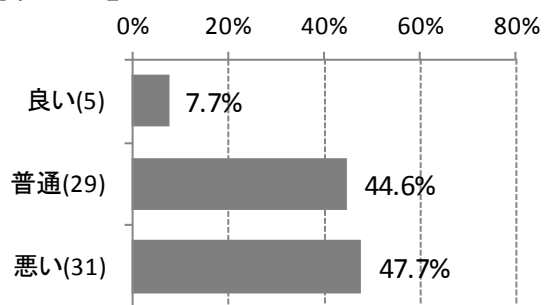
【利用しなかった理由】※複数回答

	件数	割合
利用するような地域活動での用事がなかった	15	75.0%
利用するような個人利用での用事がなかった	14	70.0%
自宅のクルマが使える(利用の必要がない)	9	45.0%
利用の方法が分からなかった	1	5.0%
インターネットでの予約方法が分からなかった	0	0.0%
利用が面倒だった	7	35.0%
その他	3	15.0%
回答者数	20	100.0%



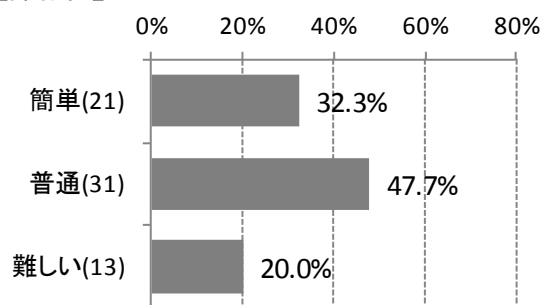
(2)運転した評価

【乗り心地】



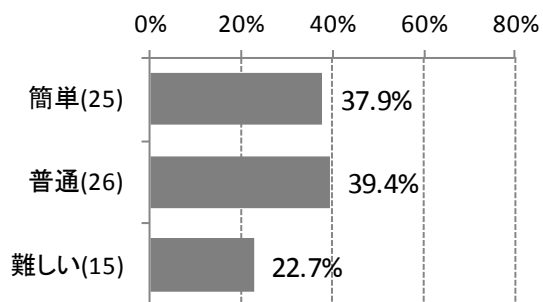
	件数	割合
良い	5	7.7%
普通	29	44.6%
悪い	31	47.7%
不明・無回答	1	—
合計	66	100.0%

【操作性】



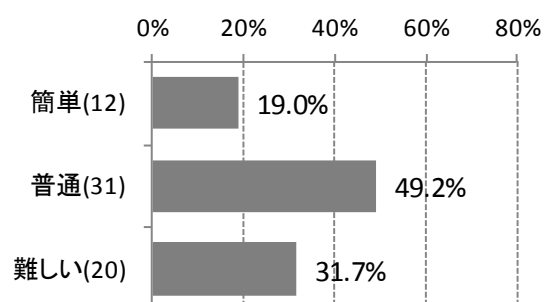
	件数	割合
簡単	21	32.3%
普通	31	47.7%
難しい	13	20.0%
不明・無回答	1	—
合計	66	100.0%

【駐車の手やすさ】



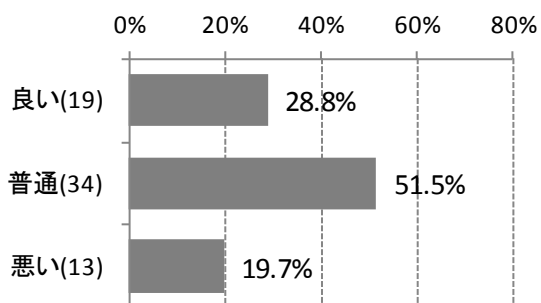
	件数	割合
簡単	25	37.9%
普通	26	39.4%
難しい	15	22.7%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【乗り降りのしやすさ】



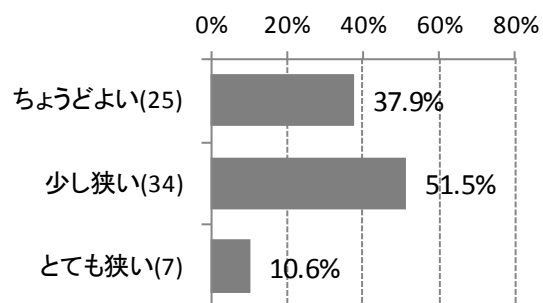
	件数	割合
簡単	12	19.0%
普通	31	49.2%
難しい	20	31.7%
不明・無回答	3	—
合計	66	100.0%

【のぼり坂の走行性】



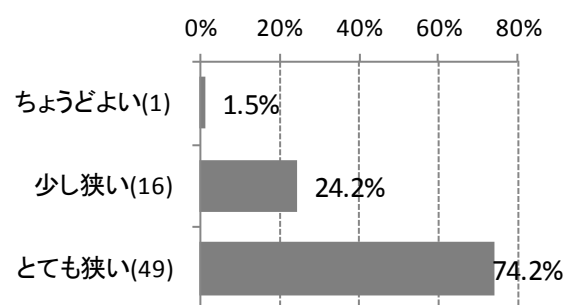
	件数	割合
良い	19	28.8%
普通	34	51.5%
悪い	13	19.7%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【車内のスペース(前席)】



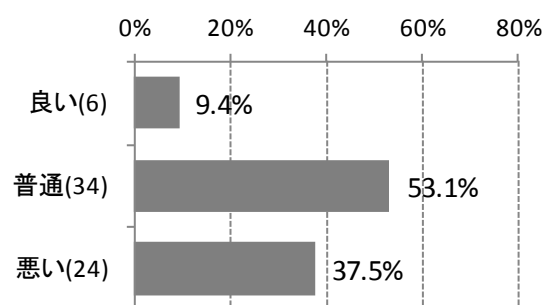
	件数	割合
ちょうどよい	25	37.9%
少し狭い	34	51.5%
とても狭い	7	10.6%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【車内のスペース(後席)】



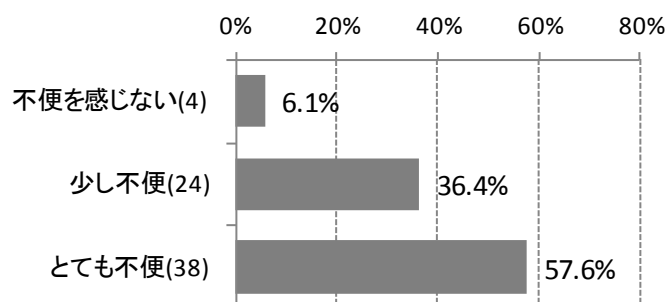
	件数	割合
ちょうどよい	1	1.5%
少し狭い	16	24.2%
とても狭い	49	74.2%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【車内空間の快適性】



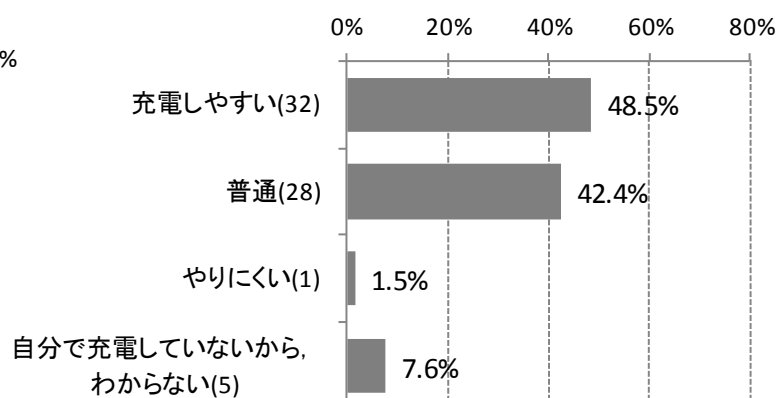
	件数	割合
良い	6	9.4%
普通	34	53.1%
悪い	24	37.5%
不明・無回答	2	—
合計	66	100.0%

【窓がないことについて】



	件数	割合
不便を感じない	4	6.1%
少し不便	24	36.4%
とても不便	38	57.6%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

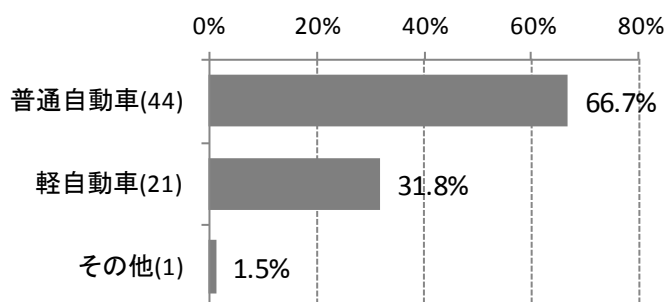
【充電のしやすさ】



	件数	割合
充電しやすい	32	48.5%
普通	28	42.4%
やりにくい	1	1.5%
自分で充電していないから、わからない	5	7.6%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

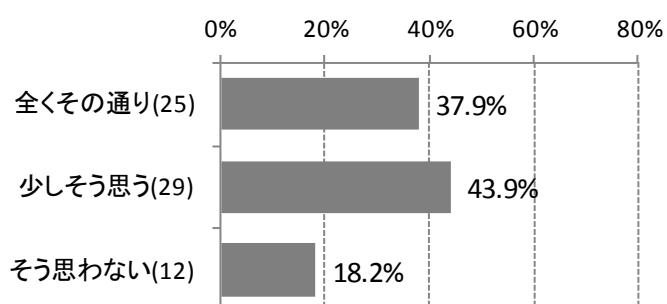
(3)超小型モビリティの運転をどのように感じたか

【日頃使用している車両の種類】



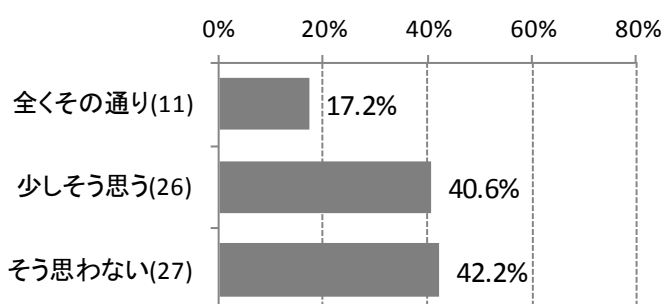
	件数	割合
普通自動車	44	66.7%
軽自動車	21	31.8%
その他	1	1.5%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【日頃使用している車両よりも、狭い道路で便利】



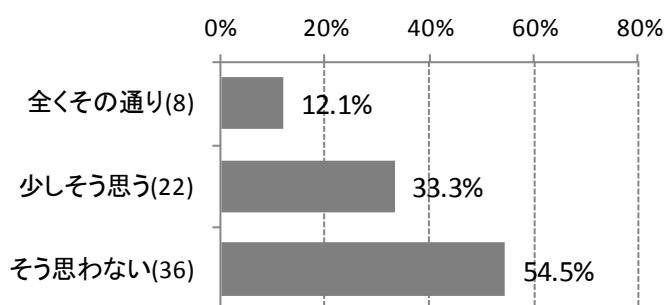
	件数	割合
全くその通り	25	37.9%
少しそう思う	29	43.9%
そう思わない	12	18.2%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【日頃使用している車両よりも、気軽に使えそう】



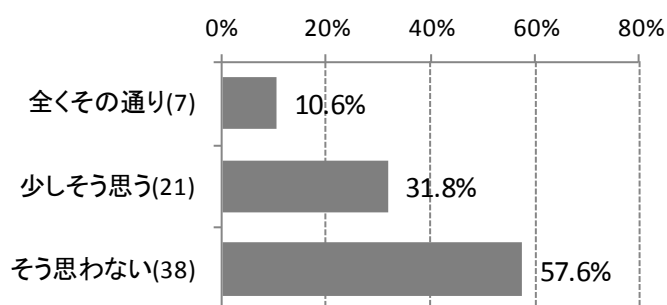
	件数	割合
全くその通り	11	17.2%
少しそう思う	26	40.6%
そう思わない	27	42.2%
不明・無回答	2	—
合計	66	100.0%

【運転が楽しい・気持ちいい】



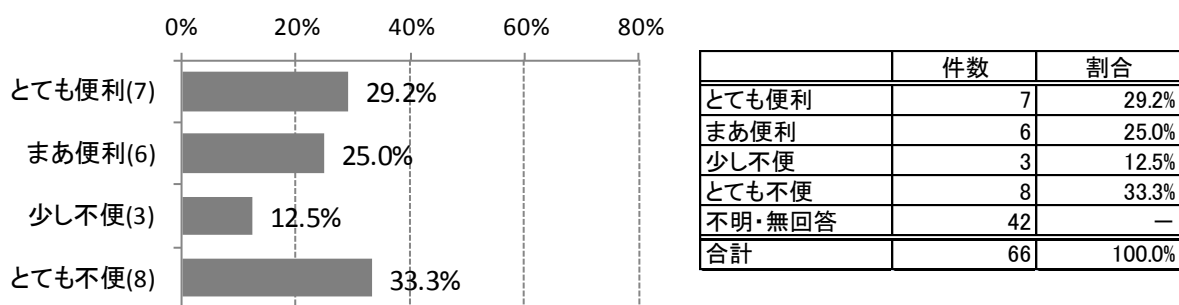
	件数	割合
全くその通り	8	12.1%
少しそう思う	22	33.3%
そう思わない	36	54.5%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

【できれば日常生活で利用したい】



	件数	割合
全くその通り	7	10.6%
少しそう思う	21	31.8%
そう思わない	38	57.6%
不明・無回答	0	—
合計	66	100.0%

(4)予約システムの利用しやすさ



【そのように思った理由や改善点】 ※評価した方だけの回答を整理

ア)とても便利

- 思いついたらすぐ予約できた。
- 操作が簡単。いつでもどこからでも予約が出来る。
- 共同利用という点では、空き状況が確認しやすく、予約も簡単だった。
- いつでもどこでも予約できる。逆にパソコン、スマホを持っていない、または使いこなせていない人にはハードルが高い。アナログ的な手法と併用が良い。
- 日常、スマホを多用しており、予約システムへの抵抗はなかった。他の方の状況を見ながら予約できるので便利であった。
- 伴学区は利用者を予め決めて登録し、実験期間内で変更などがあれば事務局が行い、うまく出来たと思う。

イ)まあ便利

- 予約システムが簡単だった。
- パソコン通信係をした。他の利用者の予約送信、変更送信を行う際、意思疎通が難しい時があった。個人個人が出来する方法もあればよい（高齢者は得意、不得意があるので）。

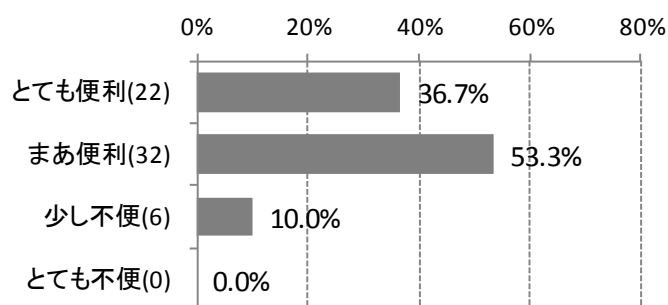
ウ)少し不便

- 登録が難しい。

エ)とても不便

- パソコンからだと面倒だった。
- パソコンに余り詳しくなく、又面倒くさい。
- パソコン、スマホを持たないと使用できない。
- パソコンは持っているがインターネットに繋がっていない。スマホはまだ未熟で使えない。
- 事前に使用予定日が組まれていたので予約システムは利用しなかった。
- わざわざパソコンを開いて予約状況を確認するのは煩わしい。

(5)鍵ボックスの利用しやすさ



	件数	割合
とても便利	22	36.7%
まあ便利	32	53.3%
少し不便	6	10.0%
とても不便	0	0.0%
不明・無回答	6	—
合計	66	100.0%

【そのように思った理由や改善点】 ※評価した方のみの回答を整理

ア)とても便利

- 鍵をなくす心配がいない。
- 番号を覚えなくて良い。
- ナンバーキー等でなく、本人が簡単に操作できた。
- 多数の利用者がいる場合は、鍵の管理がしやすく、良いアイデアだと思う。
- 鍵を借りに行ったりする事がなかったから。
- IC カードの反応が早くてツマミも回しやすい。
- 時間に関係なく自分の時間（都合）で使用したため。
- 利用するものが多数で不特定の場合、大変便利である。多数の人が利用する場合、鍵を返却する際「車を駐車し、充電までの確認作業」を行う点検表を備えるといいのではないかと思います。
- 利用者から（良いと）評価あり。
- 簡単であった。（同意見：5件）

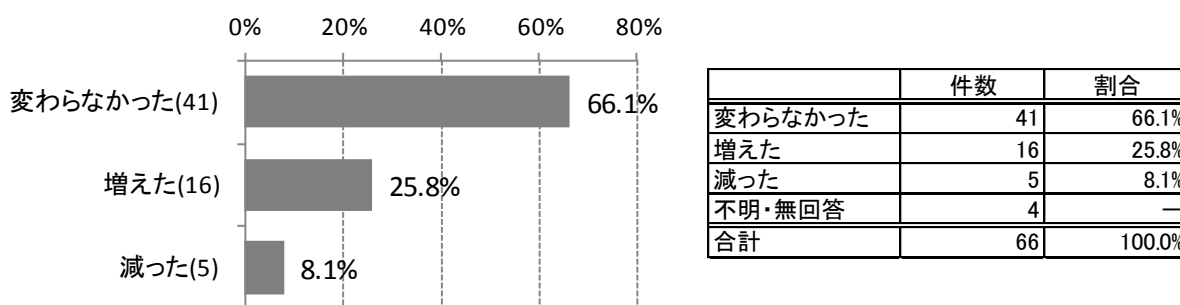
イ)まあ便利

- 自分の時間に合わせられるというのが便利だった。
- いつでも IC カードをもっていけば自分の好きな時に使えるし、安全かなと思う。
- 人がいなくても自分でキーを取り出せる。
- 鍵があるのは面倒だが、セキュリティ的には仕方がない。
- セキュリティ的にも安心だった。
- 初回戸惑ったが、次回から簡便に。（同意見：2件）
- 1度使用すれば簡単に利用できると思う。
- 慣れたらとても便利だと思う。
- かざすのみで利用でき、日常に利用している他のものと同じ。（同意見：2件）
- 複雑ではなかった。
- モビリティの近くにある方が良い。
- 簡単であった。（同意見：2件）

ウ)少し不便

- 操作が多すぎる。
- 車両の鍵も含めて、カードだけで OK にしたら良いのでは。
- 初回要領が悪くて鍵を開けるのに時間がかかった。2回目からはすぐに出来たが。
- 不便だが致し方ないと思う。

(6)ヒヤリ・ハットの割合の変化



【「増えた」又は「減った」の場合、どのような状況でそう感じましたか。具体的な状況や場所など教えてください。】

ア)増えた状況・要因など

- ブレーキの効きが悪い。(同意見：2件)
- 坂道及び信号発進時にスイッチ ON(アクセルスタート) までにタイムラグがあり、あせりを感じた。又、公道での走行には抵抗を感じた。
- 坂発進でバックした。急激にアクセルを踏むのに、慣れていない。普通車ではアクセルをじわと踏む。
- 坂で停止した時ブレーキからアクセルをふみ発進する時、素早く踏み換えないと下がってしまう。
- 坂道の停車が難しかった。(なかなか止まらなかった)
- サイドブレーキがないため坂道発進が心配で、上り坂で止まらないかヒヤヒヤした。
- フットブレーキの感覚が分かりにくい。(ブレーキの効き具合の習得に時間がかかる)
- バックミラーが無い点 (室内)。タイヤが少しはみ出ている点。
- バックするとき後ろが見えにくいので真後ろに人がいてびっくりした。
- カーブ等での走行時等。
- 運転の操作位置が違うから慣れるまで戸惑う。車自体が一般の車と比較して強度が弱いので不安であった。
- 運転になれてなく、仕様が外国製のため、方向指示器の間違い等あり。
- 日常の車と操作が少しちがうから。
- 利用開始時、エンジンが始動しなかった。何か操作が違ったのかもしれないが、車の機械部品の内容がわからないので不安が大きかった。

イ)減った状況・要因など

- 車体が小さいので見通しがよい。
- 小回りがきくので狭い道も安心して通れた。
- 坂道で再発進する場合に車が後退する事に運転慣れしてきた。ただし注意は必要である。
- 小型車両でスピードも必要以上に出ないので、安全運転を心掛けた。
- 車両の機能がよくわからなかったため、必要以上に安全運転を心掛けたためだと思う。

(7) 超小型モビリティを実際を利用して、便利だったこと、また問題に感じること。

①「超小型モビリティ」の利用に関して、便利また問題と感じる点について

a. “便利”と感じる点

ア) 伴学区

- 小学校の下校時にパトロールしたが狭い通学路で、青色回転灯は効果的であったと感じる。
- 団地内のような狭い場所での利用には、利便性はあると感じた。
- 小廻りがきいて、もの静かでスピード感もあるので乗り心地は良かった。
- 町内の狭い生活道などを運転するのに小廻りがきいて大変便利である。
- 小回りがきく。
- 駐車場が小さくてよい。
- 車種によって異なるかもしれないが、慣れれば簡単で良い。

イ) 伴東学区

- 狭い道でも通ることができること。
- 各家庭への配布物を届けるのに便利（左右どちらからでも乗り降りできる）。
- 夜間、防犯・防火見回り活動（青色回転灯の取り付けが後日になったが）の際、音が出ないので標語の声かけがうまくいった。
- 小廻りも良いので、歳を取って買い物など地区内での用件に適している。その上狭い道にも便利である。
- とてもエコ！すばらしいくらいエコカーだと思う。
- 駐車が楽であった
- 駐車場が狭い所で良い。
- 小回りが利いて良かった。
- 気軽に運転できた。ゴーカートみたい。

ウ) 大塚・伴南学区

- 駐車スペースについて（現在は）普通の車両スペースに停める事となるため、非常に楽にできた。今回は公民館に出向いての利用であったが、今後、町内の何か所にある、もっと手軽にシェアできればその不便さもなくなると思う。
- 狭い道路を行ったり来たり、走ってはすぐに止まってを2人乗車で行ったがとても便利だった。
- 駐車場が広く使える事。

b. “問題”とを感じる点

ア) 伴学区

- ハンドブレーキが硬くて解除するのに手間取った（女性のため）。ウィンカーが普通車とちがうので、すぐワイパーが動いてしまった。後ろの窓がないのとバックミラーがないので、バックで駐車する時にやりづらかった。車線変更時も同様。
- ブレーキとハンドルが問題。ターボがついたら OK。車幅が、運転席との差があるので注意必要。
- 坂道を下るのに少しブレーキがかたいのでブレーキの改良が必要。
- ブレーキの効きが悪かった。ハンドルが重かった。
- 下り坂など、ブレーキがききにくく、不便であった。

- 後方確認のためのルームミラー等，又，窓ガラスは是非とりつけてほしい。
- 日本型仕様にするとうまい！バックが見えにくい。窓ガラスがないので雨，また，夏と冬が大変。利用時間外（夜間）も利用したい。走れる範囲を広げる。
- 上り坂の操作に戸惑い。衝突などの事故の心配（脆弱なボディ）。
- 坂道発車に問題あり。
- 冬，夏，雨天等は不便である。
- 雨の日ワイパーを使用していたが，1時間連続使用していたら動かなくなった→電源をOFFにして再度ONにしたら復旧した。改善が必要だと思う。
- 乗り心地が悪い。狭い。
- 小型で音が大きく，二人乗りでは狭い。
- もう少し普通の軽自動車並みに精度をあげてほしい。
- 音がないので歩行者が多い場所では余計に気を付ける。
- 目的の1つである高齢者等の外出機会の増加につながるとは思えない（高齢者には運転しにくいと思う）。
- サイドブレーキが戻らず大変だった。
- 使用するにあたり保管場所に行くのが不便。
- 活用範囲が限られるので不便と思う。
- 問題だらけで利便性はない。

イ)伴東学区

- 操作が重い。音がうるさい。雨の日に乗ったらびしょびしょになった。乗り心地も悪い。
- 窓ガラスがないので雨天時の利用が難しい。
- 窓ガラスが無いのは雨降りや冬には大変に不便。少し改良の余地があるかと思う。
- 窓ガラスがないため，車内に荷物が置いておけない。雨，風，寒さに不向き。
- 雨降りに使用できない。ハンドルが重い。坂発車が難しい。
- 雨が降ると駐車場が問題。後部座席が狭い。乗り降りが困難。高齢者夫婦には無理。2人で買い物には不適。
- 窓ガラスがないので，雨の日や風の強い日には，使用を控えた。
- 雨の時は，窓ガラスが無いため運転出来ない。上り坂，停止した場合。後席のスペース（買い物等）。
- 寒い朝等，天井が結露し，ポタポタ水滴が落ちる。バックするのに，後ろが見えない。
- ドアミラーが三角形で小さいから車側が見えにくい。ルームミラーと後ろに窓があれば後方が確認しやすい。
- 車の装備が余りにも簡単で，乗り心地悪い，又，余りにも小型すぎ，一般道での運転が怖い。
- タイヤがでているので駐車等苦戦した。
- 年配の方には危ないと思う。
- 年寄りが慣れない車に乗っては事故の元ではないか。
- 乗れる範囲が限られているので，そこまで取りに行くくらいなら歩いて行けば良いような気がした。

ウ)大塚・伴南学区

- 構造上，後席の者は乗り降りしづらかった。一般の車からの認識（こちらが見えているか）性は不安。

- 窓ガラスなし，エアコンなし，室内用のバックミラーなし，サイドブレーキの操作性の悪さ，さらに加速力なし等，日頃使用している車両に比べ，機能性や操作性が極めて悪く，不便を感じた。また，駐車については小型だからといって自由に何処へでも停車できるわけではなく，特に小型であることのメリットは感じなかった。
- 窓ガラスが無いので駐車時の安全性など(盗難)が気になる。
- 買い物に行って，荷物を車内に置いておけない(窓ガラスがないから)。後ろに小さい窓がほしい。
- 後部座席に荷物を置いた時，固定出来ないのが不安。
- スピードが出過ぎる感覚になるのでもく他の車に合わせられなかった
- 自宅から近い所にあれば利用しやすいかもしれないが，「公民館」という限定された拠点だと，よほど遠出しないう限りは使う機会がない。使うことに慣れれば便利だとは思う。

②「車両の共同利用」に関して，便利また問題と感ずることについて

a. “便利”と感ずる点

ア)伴学区

- 人がよく集まるところや住宅団地，あるいはアストラムラインの駅等に基地を置いて利用するなどが考えられるが，しっかりとした管理が出来れば最高である。
- 必要性を感ずる日，時間帯が重なるってしまうのでは。

イ)伴東学区

- 気軽に乗りやすくて良いと思う。
- 利用日と利用者を決めておけば，短距離移動には便利。又，当団地について，普通車は駐車違反となるが，車幅が狭いので可能？と思われる。

ウ)大塚・伴南学区

- 有効的に活用出来て良いと思う。利用率も上がる。

b. “問題”と感ずる点

ア)伴学区

- 利用したい時に先約があったら使えない。
- 使いたい時に近くに車両があるかどうかと，片道のみ利用が可能かどうかがかぎかな？
- 免許保持者に限定されるため，利用度は低いと感ずる。今回は公民館に設置ということであり，その場所に行くまでに仕事がすんでしまうように感じた。高齢者利用は望めないのでは？地域性もある。
- 車両の共同利用には元来不向きだと思う。小型車両の利用価値はいつでも気軽に乗れることで，使用したい時に利用出来ないのでは意味がないと思う。ある程度の組織体で計画的に使用する事で成果が上がると思う。
- 車両に傷が付いた場合，その責任を明確に。
- 共同での使用だとマイカーではないので，管理に気を遣う。
- 少しの移動時でも鍵の管理者を探さなければいけない。(引っ張って動かない)
- ちょっと乗るだけのために予約してまで乗るのは面倒くさい。(長時間乗るのならまだ良いが)

- 予約等が面倒であり、一部の人しか乗らないのでは？
- 共同利用場所まで行って乗り換えるなら直接行く。
- 遠くの方は、公民館に行くのに不便。
- 車両が汚れている。
- 共同で利用する場合は、いろんな問題点があると思う。
- よくわからない。車の置く場所、何人で利用するかによって変わってくる。
- 現役で仕事をしているため、日曜日の使用しか出来ない。夜間は時間制限があるため使用出来ない。

イ)伴東学区

- 乗りたい時にすぐに乗れるかわからないので便利かどうかわからない。
- 後部座席が乗り降りするのに不便。
- 降雨の時等、屋根がない車庫の家など持って行けず、不便を感じた。
- 担当日に雨が降り、座席に雨が入る。改善の必要あり。
- 車の清掃・管理。
- 充電器を設置してもらいたい。
- 利用者が非常に少ないと思う。
- 駐車場まで超小型モビリティ車両を取りに行く、又は返すことが不便。それだけの時間があれば用事が済む。役所、会社、商店等で管理が出来る、利用頻度が増える。
- 車両置き場が遠いため、自家用車で行かなければならない。それなら自家用車で用が足りる。
- 私の地区は農家などがあり、少し考える。物を乗せることが出来ないので現在では軽トラが最適である。

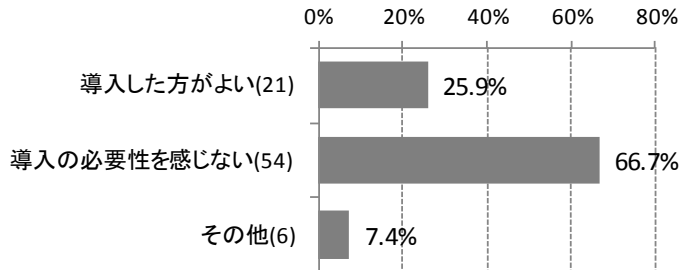
ウ)大塚・伴南学区

- 充電時間が必要なので、前利用者と後利用者の予約時間は間隔を空けなければならない。
- 空き時間のスケジュールが管理されていれば、使い易く便利だと思う。一方で、時間の制約があり、「他の人の迷惑にならないように」と気を遣って使わなければならないので、若干自由度は低いと感じる。
- 日、時間、予約について、次の方を考えると「多分これくらいの時間になるだろう」と①思う時間を終了とする事が望ましいが、逆に絶対に遅れる事が出来ないと思うことから、多少の②余裕を持った終了時間としてしまう。①と②のジレンマがあった。
- 利用したい時に予約が入っていて利用出来ない。
- 使いたいときに他の人が使っている。
- 高齢者を対象とした共同利用をするには手続きが煩雑すぎて（予約システム、IC カードボックス）利用しづらいと思う。
- 窓にガラスがないので寒い。
- 共同利用については、現社会において、実例が少ないので、何とも言えない。現在の車、自転車、バイクにおいても、共同利用は進んでいないのが実態である。もっとレンタカー利用が一般的に普及すればその延長上で進むかも？
- 将来はカーシェアリングが増えると思うが、現在は自家用車があるため必要を感じない。

[質問 2]超小型モビリティの活用について

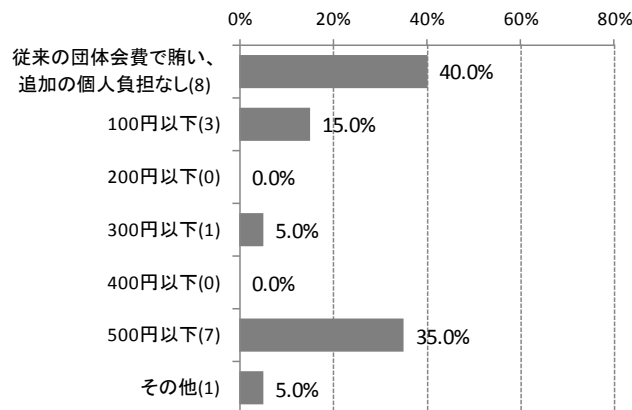
(1)超小型モビリティの導入意向及び支払可能額について

【ア. 地域団体で活用する場合】 ○団体の地域活動へ活用することについて



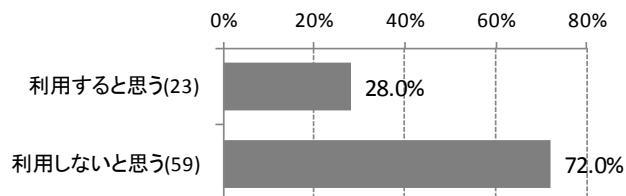
	件数	割合
導入した方がよい	21	25.9%
導入の必要性を感じない	54	66.7%
その他	6	7.4%
不明・無回答	5	—
合計	86	100.0%

○年間あたり、支払ってもよいと思う金額



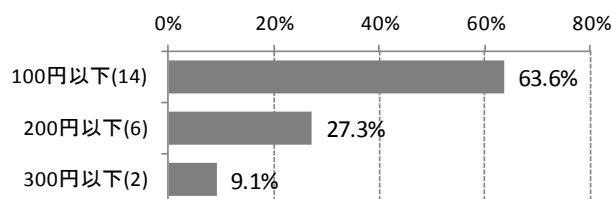
	件数	割合
従来の団体会費で賄い、追加の個人負担なし	8	40.0%
100円以下	3	15.0%
200円以下	0	0.0%
300円以下	1	5.0%
400円以下	0	0.0%
500円以下	7	35.0%
その他	1	5.0%
不明・無回答	1	—
合計	21	100.0%

【イ. 個人として活用する場合】 ○利用料の個人負担があっても利用するか



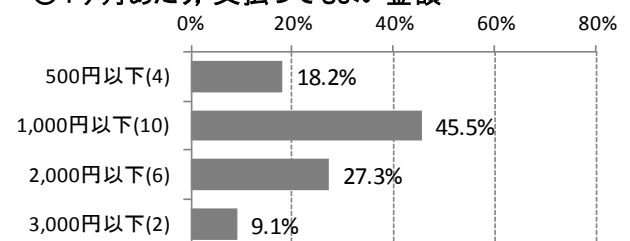
	件数	割合
利用すると思う	23	28.0%
利用しないと思う	59	72.0%
不明・無回答	4	—
合計	86	100.0%

○1時間あたり、支払ってもよい金額



	件数	割合
100円以下	14	63.6%
200円以下	6	27.3%
300円以下	2	9.1%
400円以下	0	0.0%
500円以下	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明・無回答	1	—
合計	23	100.0%

○1ヶ月あたり、支払ってもよい金額



	件数	割合
500円以下	4	18.2%
1,000円以下	10	45.5%
2,000円以下	6	27.3%
3,000円以下	2	9.1%
その他	0	0.0%
不明・無回答	1	—
合計	23	100.0%

(2)地域の暮らしの中でどのように利用すれば、超小型モビリティの活用が進むと思うか。

ア)伴学区

- 町の中が全てこの様な小型車で生活できる様なになれば安全・安心な生活の場となるのでは。昔スイスのある町には電気自動車以外は走れない町があった。空気も綺麗だった。
- モビリティの駐車場まで遠いので活用は不便と思う。50～100人に1台位ないと不便。
- 身近に車があり、いつでも利用（簡単に）出来るようにしないと難しい。
- 充電の場所が問題。家の近くにあればいいが、公民館へ行くのに誰かの車で乗せて行ってもらわないといけない。
- 利用料が無料であれば利用者はいるかもしれないが、車両の台数が増えて乗り捨て場所が多数になれば活用は進まないと思う。（車両の改良も必須）
- モビリティが普及していない初期の段階では、学区単位の町内会や社協などの団体で利用するのがいいと思うが、一般の住民が利用するにはやはり住宅団地やアストラムラインの駅、また地域で人がよく集まるところに基地を置き、買い物、通院、所用などに利用するといったところが考えられる。
- 団地等の密度の高い地域での活用はあり得る。しかし、1人～2人で出掛けた場合は荷物の量、人数を考えた場合、この種の車に利便性があるのか疑問。横に2人掛けで後部に荷物が置けるよう、もう少し大きいサイズが必要では？
- 住宅団地などで利用すればよい。居住地からバス停等への利用ができれば活用が進むと思うから。
- 利用できるエリアを広げてほしい。個人より企業の方が普及が進むと思う。
- 駐車場の優先（専用・無料）などの対策が必要。充電を自宅でできるようにする。
- 高齢者の事故が問題となっている近年に車両転換する事に問題あり。共同利用の場合、必要な時に乗れるのか、急病の時に乗れるのか？
- 地域団体で利用する場合はもっと大きい軽自動車程度の大きさが必要で、団地等で高齢者が使用すれば利用効果はある様に思われるが、車の運転は日常常時使用する事が事故防止の上からも必要で、経費の制約とか利便性のみで考えるのではなく、別の交通手段を考慮する方が良いと思う。
- 当分の間は市が補助して軌道に乗るまで状況をもう少し確認したらどうか？各地域で道路環境又、条件が異なるため、この事を考える必要あり。
- 高齢の方や不便な所に住んでいる方は便利だと思う。今回の車種は専用電源なので家庭用のプラグが開発されると良い。
- 端末タブレットを搭載し、地区域の状況が素早く確認出来るとか、ユニークな機能を付加する。
- 昼間：町内パトロール及び買い物等に利用。夕夜間は町内パトロール。
- 超小型モビリティの必要性を感じない。
- もっと他に車両があると思う。（金額、安全性、耐久性等）
- もっと安全性を高めること。

イ)伴東学区

- 老人が多くなるので超小型モビリティの活用は必要と思う。アストラムラインの各駅にこの小型モビリティを置き、誰でも自由に利用できるシステムを作り、シェアできる様にする。アストラムラインの車両内に今どの駅に何台あるか分かるようなシステムの確立をする。（パスピーで乗れる）モビリティに乗っている者には逆に現在、駐車できる駅の状態が分かるシステムにする。※スマホで現状がわかるシス

テム。とりあえずアストラムラインとコラボ利用。

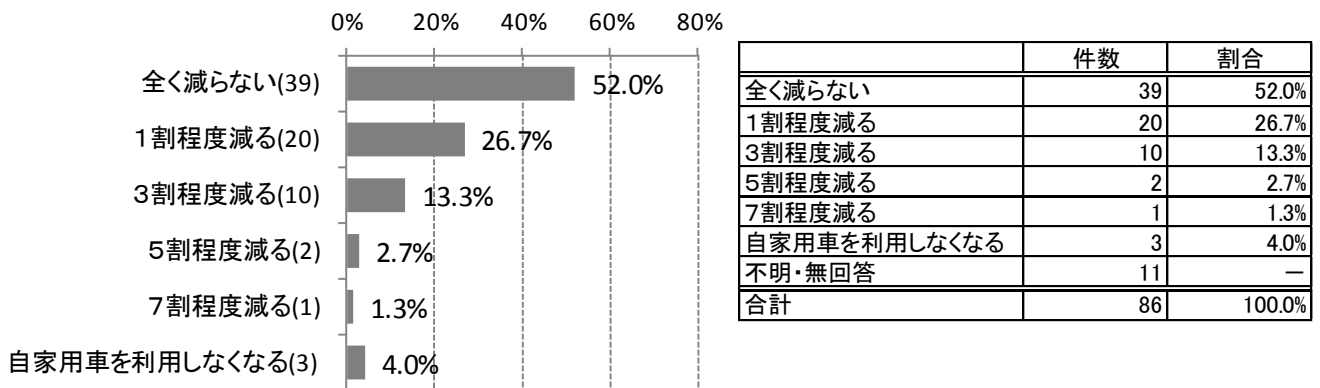
- アストラムライン駅に駐車場を配備し、事前に利用登録し、地域への移動に利用する（バスの便数が少なく待ち時間が長い）。通院などの（買い物含む）移送サービス。地域間の連絡用として活用。地域のソリューション事業に。荷物が置ける様になれば（草刈り、空き家管理、庭木の剪定、掃除など）。
- モビリティの特性は駐車スペースが狭くてすむこと。高齢者が利用している病院などはいつも駐車が難しいことが多い。家から近い場合はモビリティ、遠い場合は自家用車にするなど使い分けが必要と思う。
- 公民館や社協が所有し、必要な時に貸出をし、又、個人で必要な方が購入して乗る方が良いと思う。
- 地域の中で使うのは正直難しいのかと思う。全てのスケジュールを作り決まった時しか使うことができないと思うので。パトロール、見守り等で（スケジュールを決めて）使うしかないのかなと思う。
- 集会所単位で超小型モビリティがあれば使い易い。
- 使いたい時に使えるくらい台数が多いとか、近くにあれば使うと思う。
- 共同利用すると駐車場までが徒歩となるので活用が難しいのでは。
- 運転のしやすさ（パワーハンドル・ブレーキ etc）、車両の快適さ（雨天時 etc）の改善がなされること。
- 2人で買い物が出来る、後部座席の乗り降りがスムーズに、買い物袋を入れる座席。雨風を防ぐドア。坂発進がスムーズに出来る、サイドブレーキ式。繁華街へ出掛け、買い物をする。外出を増やす。機会を多くする。駐車料を安く。駐車場を増やす。例えば路上駐車が出来れば魅力大。価格を安く（30万円位まで）なれば乗り換える。共同利用は個人では不便。管理が難しい。
- 2名乗り＋荷物は必要条件。駅での駐車場の確保。台数は常時数台をそろえて、常に1台は空車で待ちの状態。
- もう少し、荷物が積めると良い。
- 購入費用の定額化←一般家庭への普及。
- 地域活動に利用①子ども見守り活動（登下校）②地域活動（配布資料）への使用。
- 防犯パトロール。
- 現在どのように利用するのが良いのか試行錯誤している。
- とにかくやめた方がいいと思う。

ウ)大塚・伴南学区

- 交通の便が悪い地域での利用は増えると思う。大きな団地での買い物等に利用する人はある。
- 町内会で普通車、軽自動車、貸出があれば自家用車が減る。そこでモビリティの活用がさらにUPする。高齢者は、長距離の利用も減ると思う。あっさり車を手放せば維持費等いらなくなるのでは。
- 徒歩や自転車と比べて遠くへ移動でき、自家用車よりも手軽。超小型モビリティの特長を生かす場所はあると思う。実際、商用では配達などで使っている企業もある。自動車学校で使ってみるのも良いと思う（スピード感を体感できるので）。
- 貸し自転車に代わる物として、自由に利用できるとなれば普及すると思う。
- 町内での台数が適切であること（一番良いのは、班（今住んでいる所は15～18世帯）毎に1台と思うが、バランスが良いのと、アクセスのしやすさを加味すると最初は2～3班で1台でも可）。アクセスが良い事。近くに公民館等ない班での運用となると、その班でどなたかの車庫を共同で利用できるように（例えば充電用電気代、車庫代程度の費用援助5,000円／月上限）し、徒歩数分の場所にあれば良いと思う。
- 各町内会単位で置けば活用が進む。

- 家の近くにあればちょっとした買い物などに使うと思う。設置する場所で利用する人が多くなると思う。
- 徒歩で2～5分で駐車場（モビリティ）に行けなければ利用しにくい。
- 設置場所の問題。住んでいる地域から少し遠いと自家用車を利用の方が便利。又、高齢者の場合の安全性にも問題があるのでは。
- 身近な町内会、自治会単位に設置すれば利用すると思う。雨と寒さ対策が必要。
- アストラム、バス停に駐車場があると大変良いと思う。
- 離島などで医師が往診する際や、地域での集金や回覧板の配布、子ども用タクシー。（後席は乗り降りしづらいし、近距離移動に向いているので）
- 後ろを席ではなく物が乗せられるようにして買い物をしやすくしたら良いのでは。A シティは便利なのであまり使う事がないかも。過疎地ではいろんな人の買い物を請け負って配達するのが便利？
- モビリティ自体の性能向上（寒くない、2人乗りがゆったりできる等）。モビリティの充電と駐車がしやすい場所が多くあること。
- 個人所有の方が利用は進むと思う。量産による価格低下。スクーター、バイクの代わりとして利用。
- 観光に使用できる場所等に導入すれば利用があると思う。
- 今回の実証実験では、あいにく出張と重なり使用することができなくて残念だった。講習時に試乗した感じでは、取り扱いも簡単で使用も楽だと感じた。使用する対象者が団体であれば、様々な場面での活用が可能と思う（地域の活動に使用）。個人での活用を想定すると市内中心部での使用は躊躇するかもしれない（小型ゆえの視認性の低さ）。わざわざモビリティを使用するとしたら「セカンドカー」的な使用しか思いつかない（買い物、通院等）。→主婦や自家用車を所有していない方。
- 利用してないので具体性はないが、利用申し込み方法の自由度があればよい。シェアする場所が少ないのでその場所まで車で行かなくてはならない。家庭のコンセントで充電できれば？
- 共同利用のシステムは定着しないと思う。もっと使い易い個人利用のモビリティを開発する方が良いのではないかと思う。今回使用したモビリティより、セグウェイの方が良いのでは？
- 超小型モビリティの共同利用は難しいと思う。この様な車が普及するのは、現在の軽四車レベルの品質にならないと不安で乗れない（安全性向上、機能性も）。普及するとすれば、各個人の所有・使用となるが、現在の軽四車とバッティングする。個人個人の思いで将来ある程度は普及すると思う。
- 超小型モビリティより軽トラックの方が利用は多いと思う。窓ガラスがないので雨降り、冬期は利用しない。
- 自家用車を運転出来る人は利用する事が少ないと思う。

(3)超小型モビリティの共同利用が普及した場合、あなたの世帯では自家用車の利用がどのくらい減ると思いますか



(4)今回の実証実験や超小型モビリティに関する意見

ア)伴学区

- この伴地区は西風新都の都市開発によって最近では特に交通量も増え、あちこちで車の渋滞が起こっている。そういう中で、スーパーなどちょっと買い物に行ったり、用事で出掛けたりする人が大きなワゴン車で走っているところをよく見かける。これらは交通量や渋滞にも影響し、何とかならないかと思っている。以上のことから幹線道路を避けて運転が出来るモビリティ車に大いに期待する。
- 良い体験をさせて頂いた。
- 高齢者を対象にすると、免許証を返上までの期間が短く、利用度は上がらないのではと感じる。公道を走ると、怖さを感じるので、超小型がいいのか疑問。
- 大きさは良いと思われるが、後方の乗車スペースや買い物の場所、ドア（周り）で風雨の対応等が課題。社会福祉協議会として一人暮らしや高齢者の方々の手伝いに活用できれば便利と考える。
- 荷物のある時は一人しか乗れない。行動範囲が狭くなる。人の移動が出来ない。（乗れない）
- 乗り心地の改善と操作を日本車にあわせた方が良いと思う。
- とにかく車両の改良点が多すぎる。狭い、後ろが見えにくい、ハンドブレーキが硬い、夏場は暑い（前は風が入ってこない）、ブレーキからアクセルにかわった時に車が下がる etc…。高齢者は乗りにくい。
- 全天候型でないと使用が限られる。
- 窓ガラスが無い為、雨天時の使用出来る状態にならない。
- 雨風に対応処置。暑さ寒さに対する対処、必要を考える。
- 雨降り等不便。
- 今回は、3日間の割り当てだったが、1日はイベントで、ほとんど乗らず、あと2日は雨のため、1日はほとんど乗らず、もう1回はカッパを着て乗ったが、書類が少し濡れた。
- 小型モビリティの台数が沢山あれば使用する方も多いと思われるが、時間が合わなければ（同じ時間帯になる可能性）使用出来ない方が多いと思う。一部の人だけの物になるのでは。
- 超小型モビリティの使用目的の意味がわからない。団地や高齢者の交通手段は今後大いに議論又、対策が考えられるべきだと思う。私も80歳になり免許証を返却したら、買い物にも医者通いにも困ると思う。幸いアストラムが駅まで5分という好条件のため危機感はないが、周辺団地では大きな問題だと思う。小型モビリティの事よりももっと有効な交通手段を考えるべきだと思う。

- わざわざ自家用車で公民館まで行き利用するというのは問題あり。
- 今回の実験は西風新都内に限られていたため利用範囲が狭く、自家用車とは比較することは出来ない。広い地域での実験がしてみたい。
- 運転のモニターはできるが、行動範囲が限定されているので区役所に行くには自家用車に乗り換える必要があった。期間が短すぎる。10日～20日位ないと無理。
- 実験の意味がよくわからない。奥畑地域に住む私には、利用する場所まで自家用車で行かなくてはならない。
- 何のための社会実験か、意図が掴めない状態だった（税金のムダ使いと思う）。
- 力を入れられた割に効果はなかったと思う。
- 導入しない方が良いと思う。
- 特に便利だとは思わない。

イ) 伴東学区

- 大変良い実験であった。これから小型モビリティの時代になると思う。利用を始めることで問題点や新しい発見が出来るので早期の実施が良いと思う。
- 必要な地域や対象者の方がいる所はとても良い足になると思う。
- 良い乗り物だった。
- 各自治会に配車し、利用を促す。
- 小さいのとエコなのはすごくいいなと思ったが、雨の日は使えないのと、やはり重い動き、音の大きいのが気になる。今のままだとお年寄りには厳しい気がする。
- 今回のモビリティの実証実験が急な話だったので、どのような意味合いがあるのか疑問を持っていたが、実際に利用してみて、近隣の活動については便利であることが判った。今後は地域での共同利用ではなく、一般家庭への普及（特に高齢者向け）へ自動車メーカーも努力すべきと思う（CO2減少、電気自動車、低価格販売、内装整備充実）。行政が”力を入れている”ことがあまり理解できない。
- 環境にはすごくいいと思うが、年寄りの方等には、危ないと思う。使い方も慣れないと難しいのと、自動車と事故した時などかなり危険度が高いと思う。地域で活用するのはすごくありがたいが、本当に安全運転、交通ルールに対しての徹底が相当、必要だと思う。本音では、年寄りの方にはおすすめしない。かなり危ないと思う。
- 交通量の多い道路での利用が難しい。現在はめずらしさもあり、他の車輛が気を遣ってくれている感じがする。
- 運転のしやすさ（パワーハンドル・ブレーキ etc）、車両の快適さ（雨天時 etc）の改善がなされること。
- 雨降りに使用できない、ハンドルが重い、坂発車が難しい、という点を改善した後に再度検討させてほしい。
- 車体の強化、窓ガラスの取り付け、ドアの鍵の取り付け、後部座席の乗りやすさ、などの改善が必要と思う。
- 後部座席が乗りにくい。後部座席に2人乗りにならないか（軽自動車扱いなので）。雨のときこそ利用したいのだが、窓ガラスが無いので吹き込み有り。航続距離を考え他の地域への移動も考慮願う。当地区は町内の境界にあるので。
- 荷物をのせるスペースがあれば買い物にも利用できるかなと思った。

- いつも使用している自家用車と操作性能があまりに違うと使用しづらいので、乗用車の操作に近い超小型車にしてほしい。
- 現在の様な車の仕様では、自家用車に乗り慣れている者が超小型モビリティへの利用は難しい。
- 坂の多い所は不向きに感じた。
- 暮らしの困りごとの必要性から、モビリティの発案があったのであれば、発展的な方向になる。今回のように、モビリティがあるから実験してみましようでは良い結果にはならない。
- 雨、もう少し気軽に使用できないか。
- 全く必要のない企画だと思う。

ウ)大塚・伴南学区

- 公民館まで行ってから運転だったのであまり使わなかった。けど、何かあったらモビリティがあると思うと安心感があつた。坂道が不安なのと、あおられるので大きな道は向かないと思った。楽しかった。
- 利便性、機動性を追求すれば、緊急時を含め、いつでも利用できることが条件となるので、超小型モビリティそのものは魅力であるが、個人所有が良いと思う。共同利用を追求するのであれば、その範囲や駐車場所を工夫する必要がある。
- 長距離走行出来る車は一家に一台は必要である（雨風もしのげる車）。小型モビリティは自転車、バイクが活用される場所、目的と同等で、目的としては、ちょっとそこまでの用事には全て使えるのではないかな。
- 置き場所が近くにある（歩いていける場所）なら少しは利用してみたいが、エリアが限られており難しい。パトロール等する時は青色灯が付いており、便利と思う。
- 小型すぎて走行（混雑時）の時こわさを感じる。2人乗りでは狭すぎる（後席がとくに狭い）。個人として利用する場合（特にマンション住まい）は充電、駐車場等問題がある。
- 実証実験では、設置場所が特定で、一箇所のみのため、自宅から車等で置き場所まで行く必要有り。従って、利用しづらく、良否がわからない。
- アクセスに関して、住んで居る団地（花の季台）はオープン外構であるため車庫の提供さえ良ければ公民館のように自由にアクセスできる事から、都合が良いと思う。車両に関して、女性や高齢者にも扱いやすい（乗り降りのしやすさが一番）ものが良いと思う。そうでなければ利用しなくなる。又、買い物目的も多いと思う事から荷物置き場があれば良い（荷台にボックスを付ける等）。このような車両はまだ実現（市販）されていないが、官民あげて進めていっていただければと思う。
- 離れた場所では利用しにくい。
- モニターは、高齢者が多かったので予約が面倒で利用しなかった方が多かったと思う。操作が楽で取り回しも楽なので高齢者にこそ利用してもらいたいが、予約システムの問題や共同利用だと設置場所まで行かないといけない面倒もある。チャイルドシートが取り付けられるようになると良い。
- 車両が小さいので大きな道路を運転するのは少し怖い。走っていて気持ちが良い。運転中の音が少し気になる。デザインが良い。
- サイドブレーキの操作が難しい。ルームランプが無いから夜困る。ブレーキが固い。イグニッションキーの位置が悪い。
- （実証実験について）実証実験のための手続きが煩雑すぎて、（事前の講習、使用登録、利用登録）車両を見て興味を持たれた方にモニターとして参加してもらうことができなかった。安全性を考慮した場合、

制限は必要と思うが、もう少し、手軽に参加できる方法を考えた方が良いと思う。(超小型モビリティについて) 実験車両があまりにお粗末すぎる。日頃日本の優れた技術を集約した自動車に乗り慣れている者にとって、比較対象にならない。地域での共同利用を考える前に、もう少し手軽で機能的に使い易い車両を提供すべきだと思う。

- 現在の車両は、雨天等ではカッパ着用がないと無理であり、モビリティの改造があれば利用が増える。
- シートが硬く、座りづらいので改善してほしい。特に後部座席に介助が必要な方を乗せる場合は乗りにくいので負担が大きいと想像する。今回、貴重な体験をさせていただいた。
- 私の住む団地は比較的道路幅がゆったりしており、超小型モビリティを利用する必要性を全く感じない。後部座席のスペースをもう少し広くすべき。とにかく狭くて窮屈なうえ、窓も開けっぱなしでは冬は寒すぎる。改良の余地は大いにあると思う。
- 試運転のみで本利用をしていないので特に意見はないが、後座席と窓が問題だと思った。冬時期や雨雪の日は利用出来ない。後部座席は後向座席の方が良い。A. city から公民館まで行くのならわざわざの活用はしない。
- 何かと不便なので利用価値を見出せない。若干の良さは、環境にやさしい事ぐらい(CO2 削減, 駐車スペース)。そのため役所の方で使われる方が良いと思う。
- 免許証がモビリティ専用であれば、バイクの人とか乗れると思う。
- 将来益々の高齢化社会となった時、地域内の交通手段としては個人は一般車、軽四車で、特に軽四車が増えると思う。公共交通は小型マイクロバスを地域内巡回方式で、メインターミナルを設け、メインターミナルから中心部、広島駅、バスセンターへは現在のバス、アストラム利用が良いと思う。老人は出来るだけ公共交通利用が安全であるので、これに行政としても力を入れるべきである。

調査 B:地域活動団体代表へのアンケート調査

[質問1]超小型モビリティの評価について

(1) 地域活動に超小型モビリティを活用して「効果があったこと・良かったこと」

- 交通安全マークをつけて走行することは「交通安全」の喚起を促すことになるので良かったと思う。スタイルも変わっているので、乗ってみたいと思う人もおり、PR 効果としてよかったし、実際に活用となれば利用者もかなり多いと思う。
- 伴東小学校の下校時のパトロールを行った所、生徒や見守り活動をしてくださっている方々から、笑顔で挨拶をしてくださった。車両が目立つ事、目につきやすく安心感を与えているのではないかと考えた。
- 伴学区は各町内会に呼びかけ、普段子ども見守り活動を行っている通学路で青色回転灯を点滅させ、巡回し、防犯や安全な通学を見守ろうということで活用した。一定の成果があったと思う。
- 小廻りが出来、狭い道でも安心して走る事が出来てよかった。子どもの見守り等でスペースの狭い所でも置く事が出来、良かった。
- 小廻りがきき、又形状が目立つ為、安全見守り等には効果があった様に思う。
- 町内の細かい道なども通れるため、町内のパトロールが行いやすかった。
- 夜間防犯見回り活動（音が出ないので）。短距離移動がバイク感覚で簡単に出掛けることができた。
- 見守り巡回などは効果あり。
- 担当区域の一人暮らし高齢者訪問、伴東地区内の民生委員への連絡訪問、公民館（いこいの家）への連絡などに利用させていただいたが、小廻りがきき、大変便利だった。地域住民からも大変珍しがられ、興味（小型、静か）と関心を持たれた。
- 町内清掃時に利用。3班に分かれて清掃、終了時に飲み物配布。
- ふるさと祭りの急用で使えたのが良かった。
- 国勢調査の時期だったので、何度も足を運ぶ際、利用出来た。
- 国勢調査で一部利用できた。
- このような試みを広める事ができた点は良かったと思う。
- 思ったより簡単に運転できて、他人からも質問を受けた。
- 来館者はほとんどの方が興味を持って試していた。
- 利用の効果が無い。（同意見：5件）
- 地域活動に使用していない、利用していない。（同意見：6件）

(2) 地域活動に超小型モビリティを活用して「問題だったと思うこと・困ったこと」

- 乗り心地を含め、現日本車のような、全てに関し、操作部品の充実を図るよう、開発してほしい。
- 最初は慣れない事もあり、操作にとまどった事。急な坂道の下りでブレーキが少し効きにくいと思う。
- 運転及び乗り心地が非常に悪い。
- ガラスが無いので雨、風が入る（暑い、寒い）。荷物が積めない充電場所が限られている。
- 窓ガラスが無いので雨天時には乗れない。坂道発進が思った以上に後ろに下がる感じがし、ヒヤリとする。モビリティ車を地域で利用するのに保管場所まで行くこと。

- 普通の車と比較してブレーキのききが悪い。雨天時が問題。雨が入る（乗り心地が悪い）。このまま販売になるのか？
- 雨天時の運転中と駐車場の時に窓の空間に雨が入る（防げないか？）。
- 3ヶ月の間まる4日間を利用することができたが、このうち1日は雨のため乗車することができなかった。サイドの窓ガラスはやはり必要である。
- 雨天の場合は利用しにくい。また冬期にも同じと思う。
- 雨天の際の運転で衣服が濡れる。又、エアコン付きでなく、夏・冬の運転が嫌だ。
- 荷物を積めないのが残念。
- 車両の強度（安全性）。
- 活用していない。理由はあまりにも小型なため運転が窮屈で安全性が担保できていない。（自分の運転技量に見合っていないことも）
- 駐車場所が大塚公民館であり、本校からは距離も高低差もあって、なかなか利用しに行くことが難しかった。本校に駐車してあれば利用することもあると思う。
- 夕方や車両の多い時間帯は運行するのにとても気を遣う、事故や渋滞になりやすいのではないかと思う。
- 設置場所が離れているため不便。
- 設置場所の問題がある。住んでいる所にあれば利用するかも。
- モビリティが増えて沢山走り出すと他の車両が迷惑するのではないかと思う。
- 保管場所へ行くまでに、用事が済む（移動の困難な所は近くに保管していないと使えない）。モビリティの活用は、長時間に限らず、20～30分で済むことでも活用出来ないと利用率が上がらないのでは。各町内に保管し、利用を促す。充電のみ公民館へ。毎日充電しなくて良い（一週間程度）→次の町内へ。
- 遠くに返却しなければならない。
- 運転手の限定。
- 利用予約がHP等に限られるため、インターネット環境の無い住民には利用してもらえない。大塚公民館まで自家用車等で行って乗り換える必要があるが、全く無意味。歩いて行ける場所にあれば活用もできようと思う。
- せっかく興味を持って乗ってみたいと思っても試乗できるまでの手続きを説明すると、その煩雑さにくぐに興味を失って去って行った。
- 充電施設の充実化。
- 伴地区の県道等は交通量が多く、危険だと思う。車の安全性の問題が解決しないと今後は不可と思う。
- 福祉活動にも利用したいと思っていたが、思うような活動が出来なかった。福祉支援体制の整備を急がねばと思っている。
- 沢山の見物人がいて、動きにくかったと聞いている。
- 今のままでは全く利用価値無し。
- 地域活動に使用していない、利用していない。（同意見：2件）

【質問 2】 車両の共同利用や予約システムについて

(1) 団体の中に、パソコン・スマホからの予約ができない・分からない方はいたか。

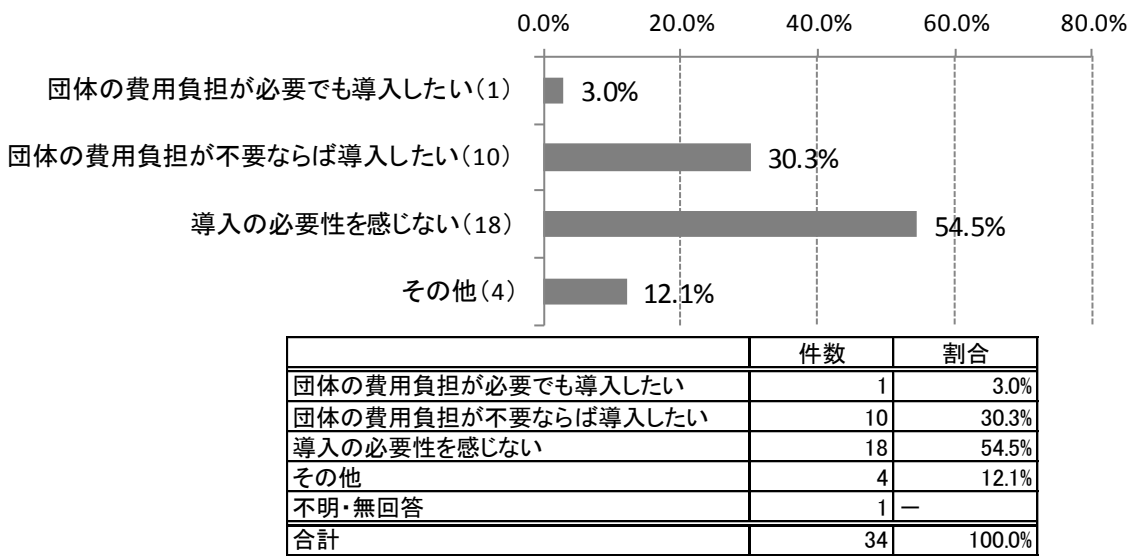
- 代表がまとめて予約した。（同意見：8件）
- パソコン（ネット）がないので順番制で使った。
- 今回は一括してスケジュールを組み、登録したため判断出来ないが、おそらく活用となればパソコン、スマホを持っていない人はかなりいると思う。
- 今回は、パソコンは使わず、鍵ボックスの利用だったので特に問題なし。※仮にパソコン利用であれば利用者が”偏る”のではないかと思われる。
- ほとんどの人が利用できないため、学区社協事務局長に電話し、代行入力してもらうようにしていたが、そこまでしてわざわざ大塚公民館にあるモビリティを使わなければならない理由がない。
- 今回、自分は以前下城ハイツ町内会でモビリティモニターとして利用しているため、今回はパソコンで連絡係として行動した。高齢者は得意、不得意があるので、世話役（まとめ役）が必要。
- 関係者内で LINE を使って予約と調整。
- 予約手続きがわからないため、使用を中止した。
- 予約していない（同意見：6件）

(2) 車両の予約や鍵ボックスの使用に関して、トラブルや問題、また、改善が望ましい点。

- 鍵ボックスの利用については、特段の問題は無し。3ヶ月の利用予定で各人別に利用日が割り当てられていたので、利用がしやすかった。
- 問題ないが、鍵ボックスは車の近くがいいと思う。
- 車両使用の場合はボックスの使用は良い方法だと思う。
- 鍵ボックスは良いと思う。が、この BOX は重装備すぎる。
- 夕方では、鍵ボックス周辺が暗く、ボックスを開けられなかった。
- セキュリティ等の問題はあると思うが、いずれも煩雑すぎる。
- なし。車両保管場所が屋外であり、雨天時は車内がぬれていた。
- 利用していない（同意見：3件）

[質問 3] 共同利用の地域定着の可能性について

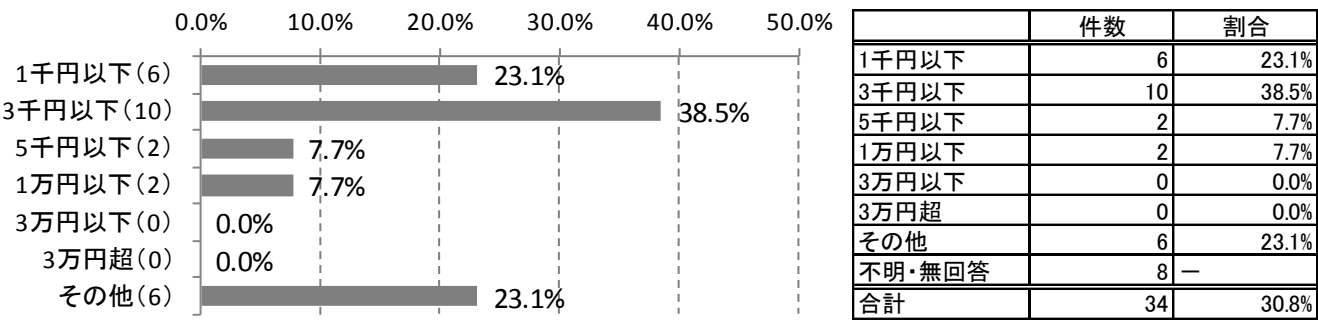
(1) 貴団体では、今後、超小型モビリティの共同利用の仕組みを導入したいと思うか。



【「その他」等の意見】

- ほとんどの家庭が農家であり、軽自動車を持っている。モビリティの利点がわからない。
- 主旨等については賛同するが、導入までは考えにくい。
- 伴東社協として活用して頂きたい。
- 任意保険，車検，維持費，負担が困難である。又，実効利用率不明。
- わからない。利用していないので。

(2) もしも導入する場合、1カ月にどの程度まで支払うことができるか。



【「その他」の意見】

- 必要性を感じられないため回答できない。
- 0 円
- 300～500 円
- 総会にかけてみないとわからない。

(3)もしも、超小型モビリティの共同利用を導入すれば、今後どのような活動に使ってみたいか。

- 伴東学区社協のボランティアセンターでの活用。地域の見守り。各団体行事などの参加並びに所用の活用。
- 広陵町内は範囲が広いので、防犯活動等に使いたい。
- 伴学区の町内会相互の連絡や、防犯・防災、子どもの見守り活動など地域内のまちづくりの足として活用したいと思っている。
- 町内の配り物。子ども達の見守り、高齢者見守り。公共交通機関までの足として。町各団体の小用。夜間パトロール。
- 地域の安全活動。地域行事の見回り活動。配布物のポスティング。
- 防犯パトロール、子どもの見守りに使う。水害時や災害時に使用できないか。
- 子どもの見守り活動。(同意見：4件)
- 町内安全パトロール。(同意見：2件)
- 防犯活動で(警察の許可車両?)。町内広報活動。
- 地域内の高齢者訪問(定期)・民生委員との連絡・地域活動参加等の連絡車として利用。
- 町内会活動。回覧物の配布など。近くにモビリティの駐車場があれば。
- 町内会の行事とか役員の配布物の配布。
- 町内会の連絡、買物。
- 直近の地域への移動手段に使用する。
- 理事への連絡便。
- 地域活動。
- 当地域では、駐車場所までの距離等からして活用しにくいと思われる。

(4)実際に本格導入する場合に、事前に検討すべき項目や留意すべき点。

- 車庫並びに電源の設置場所。運営組織体制。保険関係(事故責任含む)。運行範囲(活用内容を含めて)。
- 車両の管理、置き場、充電等について検討必要。
- 充電する所。駐車場等の場所。保険、車検の費用は?
- モビリティの保管場所、充電費用の負担部門、保険関係、運転講習会の開催と許可証、利用負担額。
- 車両の駐車スペース(雨等も考えて)。又、AC200Vの取り出し。
- 地域で(近隣)設置することが出来れば利用するかも。費用負担があれば利便性とコストが合うかどうか?
- どの様な所に使うか詳細を打合せする必要あり。市が何台か導入して、無料で使用させる方法がある。市の配布物等、仕事が多すぎるため。
- 保管場所(駐車場)。地域住民に活用する場合、登録及び安全指導。メンテナンス責任等について。活用について、事前申し込みを受付者は誰とするか、その時の責任者(管理責任含む)又、どこに。移送サービスについては後部座席が年配者には乗りにくい。
- 誰がどのように運行するか等、決まり(ルール)。
- 自動車等保有している方が少ない地域など調査して検討すべき。

- 保管場所。利用の方法の徹底。
- 車両保管場所やイタズラ防止など。
- 駐車場の確保（屋根付き）。
- 駐車場所。
- 駐車場，車庫の問題。
- 防犯パトロールなどで（警察の許可車両？）。受付や返車の簡単な手続き。駐車場の簡便性（厳格な駐車場基準の緩和）。
- モビリティは，自転車，バイクの如く手の届く場所にあり，当団地の様な急傾斜地での活用は，活動効果多大であると思われる。
- 利用しなかったので質問に答えられない。近くにあれば利用もあった様に思う。現在の車輛では特定期間とか特定日(雨，雪)などの日の利用が？ 何時でもという訳にはいかない。
- 車体の装備の充実（車内の密閉エアコン付き）。外国製につき，日本車の仕様に改善する。
- 今回使用した車両は，使い勝手が非常に悪かった。本格導入を考えるなら，先ず車種を変更すべきだと思う。
- ドアの窓ガラスがほしい。
- 導入にはいろいろまだ広島市と協議する必要があるが，何よりも資金をどのようにするかという大きな課題がある。